

とや英津子 のニュースレター

TOYA ETSUKO Newsletter

●暮らしの相談は



へ



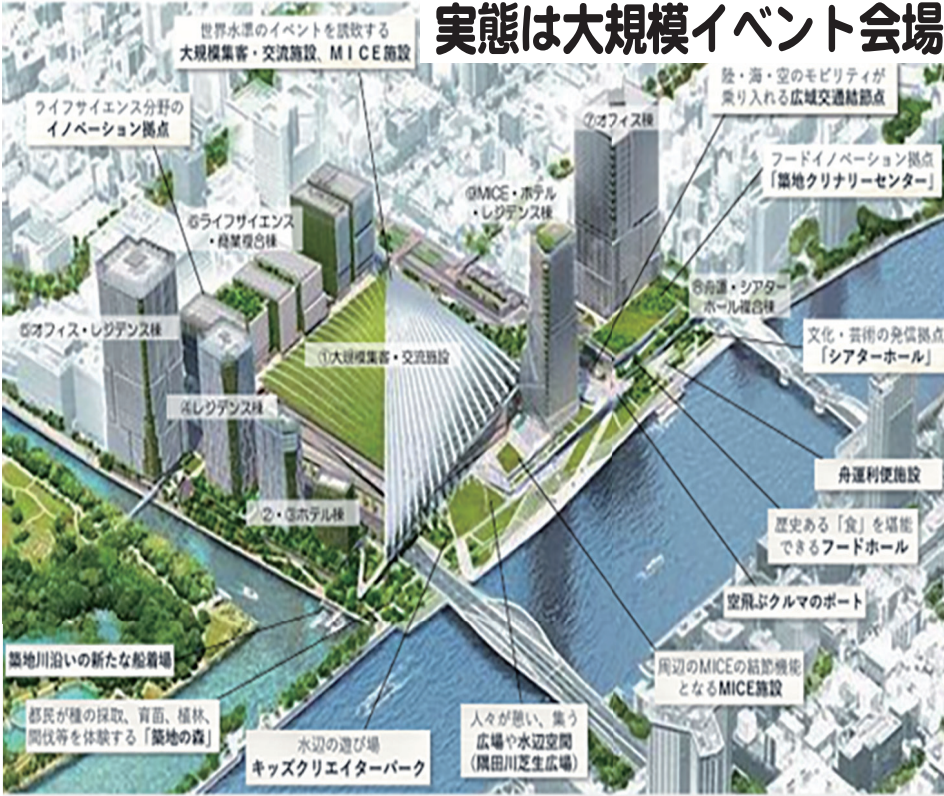
事務所：練馬区桜台1-6-11 TEL: 03-6324-8060

HP

とや英津子

検索ください

やっぱり 大型開発？ 「築地は守る」の公約違反 実施計画明らかに



実態は大規模イベント会場とオフィス、ホテルなど

「築地は守る」「残す」の公約で強行された、豊洲移転。ところが今、都民や都議会にも明らかにされないままに、都市整備局では築地開発計画が作られています。都の都市整備局のホームページには、工事を担う三井不動産らの提案プランが掲載されています。(左の図面参照)

中心には、世界水準のイベントを誘致する5万人規模の集客・交流施設が建設され、その周りに、超高層オフィスビルやホテルが林立する開発型都市計画プランです。

跡地は都民共有の財産です

そもそも築地の土地は、歴史ある都民の共有財産です。銀座などの都心に隣接し、二度と手に入ら

都の都市整備局HPより転載。事業予定者の提案書からとの説明が。

ない貴重な土地です。ところが、築地再開発の検討経過は都有地でありながら非公開にされています。

都民の前に全面的に明らかにし、都民参加で計画を再検討すべきです。

「稼ぐ東京」に税金投入の一方 暮らし、教育にしわ寄せ

国保料 平均1万3848円の値上げ 共産党都議団は、都の助成で値下げ提言

6月に通知が届く国保料(介護分を含む)は、年額1人平均1万3848円もの大幅値上げとなります。年収400万円40才夫婦子ども1人の3人家庭では、6万4399円もの値上げが家計を襲います。共産党都議団は、都が助成して値下げしたり、子どもの均等割りの無料化を求めています。

不登校増 深刻な教員不足 正規教員の大幅増員で30人学級促進を

東京都の不登校児童数は、この8年間増え続けています。教師への負担が増える一方で、毎年教員不足が改善されません。共産党都議団の実態調査では、小学校の教員不足数238人で、都の発表の3倍にもなっています。原因は、産休育休代替教員の未確保人数の未計上です。新規正規教員の大幅増員こそ必要です。

痴漢ゼロへ都に申し入れ

日本共産党都議団

痴漢被害調査は子ども・若者の状況を把握するものにし、包括的性教育の推進を



痴漢ゼロへの申し入れ。中央が とや都議（5月22日）

日本共産党都議団は、くりかえし痴漢ゼロへの取り組みを求めてきました。

調査の結果、女性の45%、男性の9%、ノンバイナリー、エックスジェンダーの36%が痴漢被害にあったことがあるという、深刻な状況がわかりました。

昨年度の調査結果には、有識者から「痴漢被害のリスクが高い若年層、とりわけ10代を、痴漢被害から守る対象群として明確に位置づける…ことが必要」などの意見が出されています。

それを踏まえて、①痴漢被害調査は、子ども・若者の状況を把握するものに ②痴漢・盗撮被害で公立、私立

学校の子どもの話や実態を把握すること ③全ての小中学校、高等学校、大学に痴漢被害調査の結果を知らせ、学校の取り組みや悩みを調査すること ④都として、包括的性教育を進めること ⑤痴漢の加害者調査を行い、痴漢加害の再犯防止プログラム実施を などを求めました。

都は、痴漢の被害者と加害者両方の対応を考えていると答弁しました。

電気料金が
大幅値上げ

熱中症から都民を守れ

共産党都議団が
都に申し入れ

今年の夏は[気温が高い]と予想され、熱中症から命を守る対策の強化が急務です。ところが電気料金は、政府の補助金終了により6月使用分から値上げとなる見込みです。

物価高騰により生活の苦しい都民が、エアコンの使用を控える事態が懸念されます。昨年の東京の猛暑日は22日間と過去最高で、低所得の方がエアコンを使用できるような支援も求められています。

申し入れ内容は、生活保護や低所得者などに、①エアコンの電気代の支援を行う ②エアコンを自己負担なく購入・設置できるよう助成を ③区市町村が行う『冷房で涼める場所の確保対策』への支援を強化し、高齢者や子どもなど都民が利用できるようにすること、です。



申し入れを行う共産党都議団 5月30日

ホームドアやエレベーター整備で運動



大泉学園駅のホームドア検討で前進、石神井公園と練馬高野台駅は今年度稼働の予定

乗降客が多い大泉学園駅のホームドア設置は、利用者の悲願です。私や 共産党区議も住民と共に西武鉄道と交渉を行うも、見通しが立っていませんでした。今回ついに、検討対象に大泉学園駅を位置付けると報告が。嬉しい前進です。また石神井公園と高野台駅は、今年度内に稼働の予定です。

小竹向原駅のエレベーター整備促進でメトロ本社に要請行動

ホームドアやエレベーター整備促進に都の支援を求めています。なかなか進展しないのが現実です。小竹向原駅の1,2番口にエレベーター増設を求める住民のみなさんと共に、東京メトロ本社に直接交渉を行ない住民の声を届けました。（右写真）実現に向け力を尽くします。

